

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月12日
東

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所
 コード番号 2981 URL <https://landix.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統括本部長 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-6420-3432
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,575	37.1	528	△6.2	512	△7.1	338	△5.9
2022年3月期第1四半期	2,608	237.7	563	—	551	—	360	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 338百万円(△5.9%) 2022年3月期第1四半期 360百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	119.83	119.02
2022年3月期第1四半期	127.49	126.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,333	5,831	47.3
2022年3月期	12,768	5,648	44.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,831百万円 2022年3月期 5,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,000	34.8	1,550	5.3	1,500	5.7	970	343.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 様々な不確定要素に起因した販売進捗の変動可能性等に鑑み、通期のみの業績予想の開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	2,827,793株	2022年3月期	2,827,793株
2023年3月期1Q	106株	2022年3月期	106株
2023年3月期1Q	2,827,687株	2022年3月期1Q	2,824,215株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への外出自粛等の厳しい制限が緩和され正常化に向けた動きがみられたものの、国内における新型株感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念され、原材料コストの上昇や原油・天然ガス等エネルギー価格の高騰による消費マインドの低下、さらに円安・金融資本市場の変動等により先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループが属する不動産住宅市場におきましては、働き方改革や在宅勤務等をきっかけとした新しい暮らし方へのニーズが住宅需要を押し上げ、金融緩和政策の継続等による低金利の下支え効果も加わり、不動産マーケットは依然として堅調な推移を見せております。

当社では「唯一無二の豊かさを創造する」の経営理念のもと、積極的な若手人材採用と育成により、新規顧客アプローチの数と質を向上させ、一方で既存顧客に対しては長期的なサポート及び丁寧な提案を行うことで、成約顧客の約3割がリピート・紹介顧客による取引となっております。さらに、当第1四半期連結累計期間では用地仕入から販売まで住宅用地については平均3.9ヶ月での短期間成約を維持継続しております。また、全成約外部顧客のうち44.7%が外部ポータルサービスや自社HP等のインターネットサービスをきっかけとした成約、40.4%が当社グループの協力業者・リピート顧客・紹介顧客による成約となり、これらが全体の85.1%を占めております。当第1四半期連結累計期間は通期業績目標に対して良好な利益水準を確保しておりますが、前年同期においては大型の収益案件が利益寄与し、利益水準が非常に高くなっていたことから、利益額は対前期比で減少となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,575,142千円（前年同期比37.1%増）、営業利益は528,036千円（前年同期比6.2%減）、経常利益は512,938千円（前年同期比7.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は338,827千円（前年同期比5.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① sumuzu事業

sumuzu事業においては、インサイドセールス部門の人員強化による積極的な提案営業活動の効果もあり、前連結会計年度下期に仕入れた販売用不動産在庫の売れ行きが順調に進み、業績は堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,549,168千円（前年同期比36.8%増）、セグメント利益は586,149千円（前年同期比4.5%減）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業においては、賃貸用不動産の増加、また全体の稼働率は高水準で推移し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による急な退去や賃料の滞納もなく、安定した賃料収入により堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は25,710千円（前年同期比88.2%増）、セグメント利益は12,950千円（前年同期比165.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、435,342千円減少の12,333,468千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、417,557千円減少の9,353,280千円となりました。これは主に期首在庫の順調な販売により棚卸資産が522,020千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、17,785千円減少の2,980,188千円となりました。これは主に減価償却により有形固定資産が9,067千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、618,647千円減少の6,501,948千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、926,171千円減少の4,383,961千円となりました。これは主に販売用不動産仕入に伴う短期借入金が発売による返済で970,680千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、307,523千円増加し2,117,987千円となりました。これは主に長期借入金が307,688千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、183,305千円増加の5,831,520千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が338,827千円増加した一方で、利益配当金の支出により利益剰余金が155,522千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国におきましては、新型コロナウイルス変異株の拡大により、人流と経済の回復が遅れる懸念や、円安や資源価格高騰による物価上昇のリスクもあり、引き続き注視が必要な状況です。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては自社仕入の強化により、既存のお客様にさらに魅力的な収益不動産物件を購入いただく等のクロスセル販売などを通じて不動産販売事業の業容拡大を目指してまいります。

これまでのところ、概ね計画どおりに業績が進捗していることから、2022年5月12日公表の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505,747	4,437,117
棚卸資産	5,030,423	4,508,403
その他	234,666	407,759
流動資産合計	9,770,837	9,353,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	962,874	963,402
減価償却累計額	△119,017	△127,128
建物及び構築物（純額）	843,856	836,273
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△26,654	△26,798
車両運搬具（純額）	1,725	1,581
工具、器具及び備品	46,877	47,461
減価償却累計額	△17,152	△19,076
工具、器具及び備品（純額）	29,725	28,384
土地	1,909,254	1,909,254
有形固定資産合計	2,784,561	2,775,494
商標権	1,510	1,510
ソフトウェア	124	110
無形固定資産	1,634	1,620
投資その他の資産		
その他	211,776	203,073
投資その他の資産	211,776	203,073
固定資産合計	2,997,973	2,980,188
資産合計	12,768,811	12,333,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,005,000	3,034,320
1年内返済予定の長期借入金	268,382	475,056
未払法人税等	453,152	184,959
賞与引当金	22,412	14,334
その他	561,186	675,291
流動負債合計	5,310,132	4,383,961
固定負債		
長期借入金	1,773,454	2,081,143
その他	37,008	36,844
固定負債合計	1,810,463	2,117,987
負債合計	7,120,595	6,501,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,554	488,554
資本剰余金	701,422	701,422
利益剰余金	4,458,542	4,641,847
自己株式	△304	△304
株主資本合計	5,648,215	5,831,520
純資産合計	5,648,215	5,831,520
負債純資産合計	12,768,811	12,333,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,608,594	3,575,142
売上原価	1,758,468	2,686,055
売上総利益	850,125	889,086
販売費及び一般管理費	286,989	361,050
営業利益	563,136	528,036
営業外収益		
為替差益	—	431
その他	10	5
営業外収益合計	10	437
営業外費用		
支払利息	10,563	15,483
その他	630	52
営業外費用合計	11,193	15,535
経常利益	551,952	512,938
特別利益		
保険解約返戻金	—	7,427
特別利益合計	—	7,427
税金等調整前四半期純利益	551,952	520,365
法人税等	191,891	181,537
四半期純利益	360,060	338,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,060	338,827

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	360,060	338,827
四半期包括利益	360,060	338,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,060	338,827
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,594,625	13,662	2,608,288	306	2,608,594	—	2,608,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,594,625	13,662	2,608,288	306	2,608,594	—	2,608,594
セグメント利益	613,563	4,875	618,439	306	618,745	△55,608	563,136

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,154千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,549,168	25,710	3,574,879	262	3,575,142	—	3,575,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,549,168	25,710	3,574,879	262	3,575,142	—	3,575,142
セグメント利益	586,149	12,950	599,100	262	599,362	△71,326	528,036

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,871千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。